

【 記入にあたってのお願い 】

磐田市 子育てに関するアンケート調査
(就学前児童保護者用)

【 調査ご協力 のお願い 】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

さて、磐田市では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度のもと、教育・保育・子育て支援の充実を図るため5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に各種の事業を実施することとなりました(平成27年度から実施予定)。

この調査は、磐田市の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するために実施するものであり、市内にお住まいの就学前のお子さんがいらっしゃるご家庭の中から無作為に選ばせていただいた3,000人の保護者の方に、ご協力をお願いするものです。

なお、ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は全体の何%」といった形に整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。また、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものでもなく、今後、利用希望を変更していただいて構いません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年9月

磐田市長 渡部 修

■記入後は、同封の返送用封筒に入れて、**10月4日(金)まで**にポストへお入れください
(切手は不要です)。

■この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問合せ先】 〒438-0077 磐田市国府台57-7
磐田市役所 健康福祉部 こども課 子育て支援グループ
電話：0538-37-4853 FAX：0538-37-4631

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 数字(年齢や時間帯等)をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。(例：午後1時 → 13時)
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
6. 保育サービスなどの子育て支援サービスについておうかがいする質問がありますが、これらの質問はあくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件(例：保育園の入園要件など)を全て表現しているものではありません。実際のサービスの利用条件などについては、市担当課窓口にご相談ください。

《用語の定義》

この調査票における用語の定義は以下のとおり。

名 称	内 容
幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)。
保育園	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)。
認定こども園	幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)。
放課後児童クラブ	小学校就学児童を対象に、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。地域によって学童保育などと呼ばれる。
放課後子ども教室	地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できる。

封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。【Oは1つだけ】

1. 磐田北小 2. 磐田中部小 3. 磐田西小 4. 磐田南小 5. 大藤小 6. 向笠小
 7. 長野小 8. 岩田小 9. 田原小 10. 東部小 11. 富士見小 12. 福田小
 13. 豊浜小 14. 竜洋東小 15. 竜洋西小 16. 竜洋北小 17. 豊田南小
 18. 豊田北部小 19. 青城小 20. 豊田東小 21. 豊岡南小 22. 豊岡北小 23. 豊岡東小

問1-1 あて名の【 】内に記載されている町名をご記入ください。

あて名の【 】内記載の町名 例：西新町、金洗

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。【数字で記入】

平成 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。**あて名のお子さんを含めた人数**をご記入ください。また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。【数字で記入】

きょうだい数：人 末子の生年月：平成 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【Oは1つだけ】

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。【どちらかにO】

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【Oは1つだけ】

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

問7 同居家族の人数（あて名のお子さんを含む）をご記入ください。【数字で記入】

同居の家族全員で 人

問8 あて名のお子さんの、父母との同居状況についてお答えください。【Oは1つだけ】

1. 父母同居 2. 父同居（ひとり親家庭） 3. 母同居（ひとり親家庭）
 4. 父母どちらとも同居していない

問9 あて名のお子さんの、祖父母との同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお答えください。続柄はお子さんからみた関係です。【Oはあてはまるものすべて】

1. 祖父同居 2. 祖母同居 3. 祖父近居 4. 祖母近居
 5. 祖父母どちらとも同居・近居していない

子どもの育ちをめぐる環境について

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どの施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。【Oはあてはまるものすべて】

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母
 5. 幼稚園 6. 保育園 7. 認定こども園 8. その他（ ）

問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境はどれですか。【Oはあてはまるものすべて】

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園
 4. 保育園 5. 認定こども園 6. その他（ ）

問12 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【Oはあてはまるものすべて】

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 5. いずれもない

5頁
問12-2へ

5頁 問13へ

問12-1は、問12で「1.」または「2.」を選ばれた方におうかがいします。

→ 問12-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【Oはあてはまるものすべて】

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが苦しい
 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
 6. その他（ ）

問12-2は、問12で「3.」または「4.」を選ばれた方におうかがいします。

問12-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
【〇はあてはまるものすべて】

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問13 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか。【どちらかに〇】

1. ある

2. ない

→ 問14へ

問13-1は、問13で「1.」を選ばれた方におうかがいします。

問13-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。
【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援センター、児童館等） |
| 5. 県の保健所・市の保健師 | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口
（子ども相談室、市発達支援センター「はあと」等） |
| 11. 子育てサークル | |
| 12. その他 例：ベビーシッター | |
- ()

問14 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

保護者の就労状況について

問15 保護者の方の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。

(1) 母親（父子家庭の場合は記入は不要です）【〇は1つだけ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ 7頁 (2)【父親】へ

(1)-1・2は、(1)母親で「1.」～「4.」を選ばれた方におうかがいします。

→ (1)-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

1週あたり： 日 1日あたり： 時間

→ (1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】
※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻： 時 帰宅時刻： 時

(2) 父親（母子家庭の場合は記入は不要です）【〇は1つだけ】

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
- 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
- 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
- 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまで就労したことがない

→ 8頁 問16へ

(2)-1・2は、(2)父親で「1.」～「4.」を選ばれた方におうかがいします。

→ (2)-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

1週あたり： 日 1日あたり： 時間

→ (2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】
※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻： 時 帰宅時刻： 時

問16は、問15（1）母親または（2）父親で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労）を選ばれた方におうかがいします。

問16 フルタイムへの転換希望はありますか。【〇は1つだけ】

(1) 母親

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問17は、問15（1）母親または（2）父親で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」を選ばれた方におうかがいします。

問17 就労したいという希望はありますか。【〇は1つだけ】

また、該当する箇所に数字をご記入ください。【数字で記入】

(1) 母親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
- 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 - ▶ 希望する就労形態
 - 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 - 2. パート・アルバイト等
 - ⇒1週あたり： 日、1日あたり： 時間

(2) 父親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
- 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 - ▶ 希望する就労形態
 - 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 - 2. パート・アルバイト等
 - ⇒1週あたり： 日、1日あたり： 時間

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問18-1に示した事業が含まれます。

問18 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。【どちらかに○】

1. 利用している

2. 利用していない

→ 10頁 問18-5へ

問18-1～問18-4は、問18で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

→ 問18-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。【○はあてはまるものすべて】

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 家庭的保育【保育ママ】（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
6. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
7. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
10. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
11. その他（ ）

→ 問18-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）をお答えください。【数字で記入】

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

(1) 現在

1週あたり： 日 1日あたり： 時間（ 時～ 時）

(2) 希望

1週あたり： 日 1日あたり： 時間（ 時～ 時）

→ 10頁 問18-3・4へ

問18-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。【どちらかに○】

1. 磐田市内

2. 他の市区町村

問18-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方に病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問18-5は、問18で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

問18-5 定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親族の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため ⇒（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

全ての方におうかがいします。

問19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。【〇はあてはまるものすべて】
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※金額については、おおむねの金額です。施設、年齢によって異なることがあります。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
1ヶ月 公立 約1万円、私立 約2万円（助成制度有）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
1ヶ月 公立 約7,000円、私立 約4,000円
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
1ヶ月 公立・私立 約2～4万円（収入状況によって異なる）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
現在磐田市にはありません
参考）近隣市の私立幼稚園部門 1ヶ月 約2万円（助成制度有）
// 保育園部門 1ヶ月約2～4万円（収入状況によって異なる）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
新制度により新しくはじまる保育で、現在磐田市にはありません 料金は未定
6. 家庭的保育【保育ママ】（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
現在磐田市にはありません
参考）近隣市 1時間 約500円
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
1ヶ月 約25,000円
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
1ヶ月 約40,000円
9. その他の認可外の保育施設
1ヶ月 約40,000円
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
1時間 約2,000円
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
1時間 約600円
12. その他（)

問19-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。【どちらかに〇】

1. 磐市内市 2. 他の市区町村

地域の子育て支援事業の利用状況について

問20 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「つどいの広場」等と呼ばれます）を利用していますか。【〇はあてはまるものすべて】
また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【数字で記入】

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
（子育て支援センター、つどいの広場、多文化交流センター）
⇒1週あたり： 回 もしくは 1ヶ月あたり： 回程度
2. その他磐田市で実施している類似の事業（具体名：) 例：児童館
⇒1週あたり： 回 もしくは 1ヶ月あたり： 回程度
3. 利用していない

問21 問20のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。【〇は1つだけ】
また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【数字で記入】
※この事業の利用は、実費負担を除き原則無料です。

1. 利用していないが、今後利用したい
⇒1週あたり： 回 もしくは 1ヶ月あたり： 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
⇒1週あたり：更に 回 もしくは 1ヶ月あたり：更に 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。【〇はそれぞれ1つだけ】

	【 A 】 知っている		【 B 】 これまでに利用 したことがある		【 C 】 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
【記入例】育児に関する学級・講座	①	2	①	2	①	2
①育児に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2
②保健の情報・発育や育児相談事業	1	2	1	2	1	2
③家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2
④教育支援センター・教育相談室	1	2	1	2	1	2
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2
⑥子育ての総合相談窓口（子ども相談室）	1	2	1	2	1	2
⑦磐田市発行の子育て支援情報誌「わわわ」	1	2	1	2	1	2
⑧発達支援センター「はあと」	1	2	1	2	1	2
⑨子育て相談員派遣事業	1	2	1	2	1	2
⑩ことばの教室	1	2	1	2	1	2
⑪その他（)	1	2	1	2	1	2

土曜・日曜・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問23 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。【○は1つだけ】また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【数字を記入】

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい
 3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
 []時から []時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい
 3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
 []時から []時まで

問23-1は、問23(1)または(2)で「3.月に1～2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。

問23-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

- 1. 月に数回仕事が入るため
- 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他 ()

「幼稚園」を利用している方におうかがいします。

問24 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。【○は1つだけ】また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯
 []時から []時まで

問24-1は、問24で「3.休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方におうかがいします。

問24-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

- 1. 週に数回仕事が入るため
- 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他 ()

病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問25～問25-6は、平日の定期的な教育・保育事業を利用している保護者の方（9頁 問18で「1.利用している」を選ばれた方）におうかがいします。それ以外の方は16頁 問26にお進みください。

問25 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。【どちらかに○】

1. あった
 2. なかった → 16頁 問26へ

問25-1は、問25で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

問25-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業ができなかった場合の対処方法はありますか。【○はあてはまるものすべて】

また、その日数は概ね何日ですか。（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。【数字を記入】

1. 父親が休んだ -----> 年間 [] 日
 2. 母親が休んだ -----> 年間 [] 日
 3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった -----> 年間 [] 日
 4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた -----> 年間 [] 日
 5. 病児・病後児の保育を利用した -----> 年間 [] 日
 6. ベビーシッターを利用した -----> 年間 [] 日
 7. ファミリー・サポート・センターを利用した -----> 年間 [] 日
 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた -----> 年間 [] 日
 9. その他 () -----> 年間 [] 日

→15頁 問25-5へ

問25-2は、問25-1で「1.」または「2.」を選ばれた方におうかがいします。

問25-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。

【どちらかに○】また、その場合の日数はどれくらいありますか。【数字を記入】

※病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用者負担（病後児で約1,000円/日）があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった ⇒ 年間 [] 日
 2. 利用したいとは思わなかった → 15頁 問25-4へ

問25-3は、問25-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」を選ばれた方におうかがいします。

問25-3 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

- 1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
- 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
- 4. その他 ()

問 25-4 は、問 25-2 で「2. 利用したいとは思わなかった」を選ばれた方におうかがいします。

問 25-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わなかった理由は何ですか。
【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | 4. 利用者負担がかかる・高い |
| 5. 利用者負担がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他（ ） | |

問 25-5 は、問 25-1 で「3.」～「9.」を選ばれた方におうかがいします。

問 25-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。
【どちらかに○】
また、その場合の仕事を休んで見たかった日数はどれくらいありますか。【数字を記入】

1. できれば仕事を休んで見たかった ⇒ 休んで見たかった日数：年間 日
2. 休んで看ることは非常に難しかった

問 25-6 は、問 25-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しかった」を選ばれた方におうかがいします。

問 25-6 その理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | |
| 2. 自営業なので休めない | |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | |
| 4. その他（ ） | |

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 26 この 1 年間に、あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的（日中の定期的な保育や病気のため以外）で不定期に利用している事業はありますか。

【○はあてはまるものすべて】

また、その日数は概ね何日ですか（半日程度の場合も 1 日とカウントしてください）。

【数字を記入】

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. 一時預かり
（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業） | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 2. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ） | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 3. ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業） | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ
（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業） | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 5. ベビーシッター | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 6. その他（ ） | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 7. 利用していない | |

問 26-1 は、問 26 で「7. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

問 26-1 利用していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない |
| 5. 利用者負担がかかる・高い | 6. 利用者負担がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. その他（ ） | |

問 27 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。【どちらかに○】また、その目的は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1. 利用する必要がある | 合計年間 <input type="text"/> 日 |
| 1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等 | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 3. 不定期の就労 | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 4. その他（ ） | 年間 <input type="text"/> 日 |
| 2. 利用する必要はない | → 17 頁 問 28 へ |

問 27-1 は、問 27 で「1. 利用する必要がある」を選ばれた方におうかがいします。

問 27-1 問 27 の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。
【〇はあてはまるものすべて】

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援センター等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問28 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。【どちらかに〇】
また、あった場合、その対処方法は何か。【〇はあてはまるものすべて】
その日数は概ね何日ですか。【数字を記入】

1. あった

1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった -----> 年間 泊
2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した -----> 年間 泊
（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）
3. 2以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） -----> 年間 泊
を利用した
4. 仕方なく子どもを同行させた -----> 年間 泊
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた -----> 年間 泊
6. その他（ ） -----> 年間 泊

2. なかった

問 28-1 は、問 28 で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」を選ばれた方におうかがいします。

問 28-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。【〇は1つだけ】

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

小学校入学後の放課後の過ごし方について

問29～問32は、あて名のお子さんが平成21年4月1日までに生まれた方におうかがいします。
それ以外の方は20頁 問33へお進みください。

問29 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校下校後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】
また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字を記入】
「放課後児童クラブ」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。
※時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。
※放課後児童クラブの利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 自宅 -----> 週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 -----> 週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） -----> 週 日くらい
4. 児童館^{注1} -----> 週 日くらい
5. 放課後子ども教室^{注2} -----> 週 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 -----> 週 日くらい
⇒下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター -----> 週 日くらい
8. その他（公民館、公園など） -----> 週 日くらい

注1： 福田児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

注2： 放課後子ども教室とは、地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問30 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校下校後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】
また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字を記入】
「放課後児童クラブ」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。
※時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。
※下校時刻の目安は通常16時頃、課外活動があるときは17時頃です。
※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。
※放課後児童クラブの利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 自宅 -----> 週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 -----> 週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） -----> 週 日くらい
4. 児童館^{注3} -----> 週 日くらい
5. 放課後子ども教室 -----> 週 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 -----> 週 日くらい
⇒下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター -----> 週 日くらい
8. その他（公民館、公園など） -----> 週 日くらい

注3： 福田児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 31 は、問 29 または問 30 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選ばれた方におうかがいします。

問31 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
【〇は1つだけ】

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【数字を記入】

※（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

- 1. 1～3年生の間は利用したい
- 2. 4年生までの間は利用したい
- 3. 5～6年生になっても利用したい
- 4. 利用する必要はない

利用したい時間帯
[]時から []時まで

(2) 日曜・祝日

- 1. 1～3年生の間は利用したい
- 2. 4年生までの間は利用したい
- 3. 5～6年生になっても利用したい
- 4. 利用する必要はない

利用したい時間帯
[]時から []時まで

問 32 は、あて名のお子さんが平成 21 年 4 月 1 日までに生まれた方全員におうかがいします。

問32 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。【〇は1つだけ】

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【数字を記入】

※（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 1. 1～3年生の間は利用したい
- 2. 4年生までの間は利用したい
- 3. 5～6年生になっても利用したい
- 4. 利用する必要はない

利用したい時間帯
[]時から []時まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

全ての方におうかがいします。

問33 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。

また、取得していない方はその理由をお答えください。

母親【〇は1つだけ】	父親【〇は1つだけ】
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない
⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) 【いくつでも】	⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) 【いくつでも】

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育園などに預けることができた
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10. 子育てや家事に専念するために退職した
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
- 15. その他()

問 33-1 育児休業に関連し次の2つの制度がありますが、そのことをご存じですか。【〇は1つだけ】

- ◆育児休業給付 → 子どもが原則満1歳（保育園における保育の実施がおこなわれないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み。
- ◆保険料免除 → 子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2. 育児休業給付のみ知っていた
- 3. 保険料免除のみ知っていた
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 33-2～問 33-9は、問 33で「2. 取得した（取得中である）」を選ばれた方におうがいたします。それ以外の方は、24頁 問 34へお進みください。

問 33-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【〇はそれぞれ1つだけ】

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問 33-3～問 33-5は、問 33-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方におうがいたします。

問 33-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【〇は1つだけ】

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

問 33-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

【数字を記入】

(1) 母親

- ①復帰した時の
子どもの年齢： □ 歳 □ 月
- ②希望していた復帰
時期の子どもの年齢： □ 歳 □ 月
- ※希望どおりの復帰時期だった場合は、②に①と同じ数字を記入してください。

(2) 父親

- ①復帰した時の
子どもの年齢： □ 歳 □ 月
- ②希望していた復帰
時期の子どもの年齢： □ 歳 □ 月
- ※希望どおりの復帰時期だった場合は、②に①と同じ数字を記入してください。

問 33-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。【数字を記入】

(1) 母親

- 歳 □ 月まで
- ※問 33-4の②(希望していた復帰時期の子どもの年齢)と同じ場合は、同じ数字を記入してください。

(2) 父親

- 歳 □ 月まで
- ※問 33-4の②(希望していた復帰時期の子どもの年齢)と同じ場合は、同じ数字を記入してください。

問 33-6は、問 33-4で実際の復帰と希望が異なる方におうがいたします。

問 33-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 【〇はあてはまるものすべて】

①母親

1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

②父親

1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 【〇はあてはまるものすべて】

①母親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

②父親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

問 33-7は、問 33-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方におうがいたします。

問 33-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【〇は1つだけ】

(1) 母親

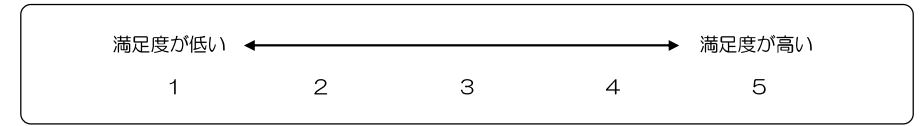
1. 利用する必要がなかった
(フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった
(利用できなかった)

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった
(フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった
(利用できなかった)

全ての方におうかがいします。

問34 磐田市の子育て環境や支援の満足度について、1～5の5段階評価でお答えください。【1～5のうち、あてはまる番号に1つに○】



問35 子育てを支援するために効果の高いと考えられる施策についてお答えください。【○は3つまで】

1. 子育て支援策に関する情報提供の拡充
2. 子育てについて、気軽に相談できる機関やサービスの充実
3. 子どもの成長・発育に欠くことのできない自然環境の保護や行政では対応しにくいきめ細かなサービス提供が期待できるNPO等による保育サービス、放課後児童に対する施策の充実
4. 保育園や幼稚園などの費用負担の軽減
5. 児童手当、こども医療費助成制度の充実
6. 出産や不妊治療に対する経済的支援の充実
7. ベビーカーを押して外出しやすい歩道の整備など子育てにやさしい環境の整備
8. 短時間勤務制度導入など仕事と家庭の両立を図るための就労環境の整備
9. 児童への虐待に対する対策の充実
10. あらゆる世代、性別に関わらず、だれもが子育てについて学べる機会の充実
11. 親や子ども、子どもと高齢者など、多世代で交流できる場の充実
12. 安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備
13. 妊産婦や乳幼児健康診査、保健指導等の母子保健体制の整備
14. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなどの住宅面の配慮
15. 男性の家事・育児への参画のための男性への意識啓発
16. その他 ()

問36 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
 手前は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。

問33-8は、問33-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選ばれた方におうかがいします。

問33-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
 【○はあてはまるものすべて】

(1) 母親

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい
雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった
(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい
雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった
(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()

問33-9は、問33-2で「2. 現在も育児休業中である」を選ばれた方におうかがいします。

問33-9 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
 【どちらかに○】

(1) 母親

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい